

プラスチック資源回収モデル事業の実施について

ver.2



豊島区 環境清掃部 ごみ減量推進課・豊島清掃事務所



1 プラスチック資源回収導入の背景

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



I 廃プラスチック問題

気候変動

世界のプラスチック生産量は急増



生産等に伴うCO2排出量も増加
(温室効果ガス排出量の増加)



地球温暖化への影響



世界各地で台風や集中豪雨、熱波等の異常気象が観測



海洋プラスチック問題

世界の河川等から
年間480~1,270万トンのプラスチックが海洋に流入。



- ①海洋生物への直接的影響
- ②海洋生態系への影響
- ③化学物質が生物濃縮



輸出に関する問題

2018年の日本の廃プラスチック排出量891万トンのうち、10.2%が海外に輸出。



2017年に中国の廃プラスチック輸入規制が始まり、マレーシア、台湾、タイ、ベトナムなどの輸入国も規制を強化しつつある。



日本国内での廃プラスチックのリサイクル強化が必要



2 国の動き

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和4年4月施行）

背景

- ・ 気候変動問題（SDGs目標13）
- ・ 海洋プラスチック問題（SDGs目標14）
- ・ 諸外国の廃棄物輸入規制の強化



内容

プラスチックの資源循環の促進を総合的かつ計画的に推進するための基本方針の策定

- ・ プラスチック廃棄物の排出抑制、再資源化に資する環境配慮設計（SDGs目標12）
- ・ ワンウェイプラスチック（使い捨てプラスチック）の使用規制（SDGs目標12）
- ・ プラスチック廃棄物の分別収集、自主回収、再資源化 等（SDGs目標12）



努力義務

区市町村には、「プラスチック製容器包装」と「製品プラスチック」を資源として回収することが求められる。

3 東京都の動き

2019年「ゼロエミッション東京戦略」を公表

プラスチック削減プログラム

2020年

- ・使い捨てプラスチックの削減
- ・廃プラスチックの高度リサイクル
- ・区市町村と連携した分別・リサイクルの促進強化
※区市町村への支援事業(補助金交付)など

2030年

- ・**廃プラスチック焼却量の40%削減**
- ・海洋へのプラスチック流出をゼロ
- ・大幅リデュース、使い捨てプラスチックの根絶

2050年

- ・**二酸化炭素排出量を実質ゼロ**

4 豊島区の動き

令和2年7月 「SDGs未来都市」
「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定

令和3年2月 「ゼロカーボンシティ宣言」
(2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ)

令和4年7月 「ゼロカーボン戦略」の策定
(2030年度の温室効果ガス削減目標を2013年度比
50%まで削減)

高密都市「としま」が環境分野でSDGsをリード

プラスチック資源
回収の導入

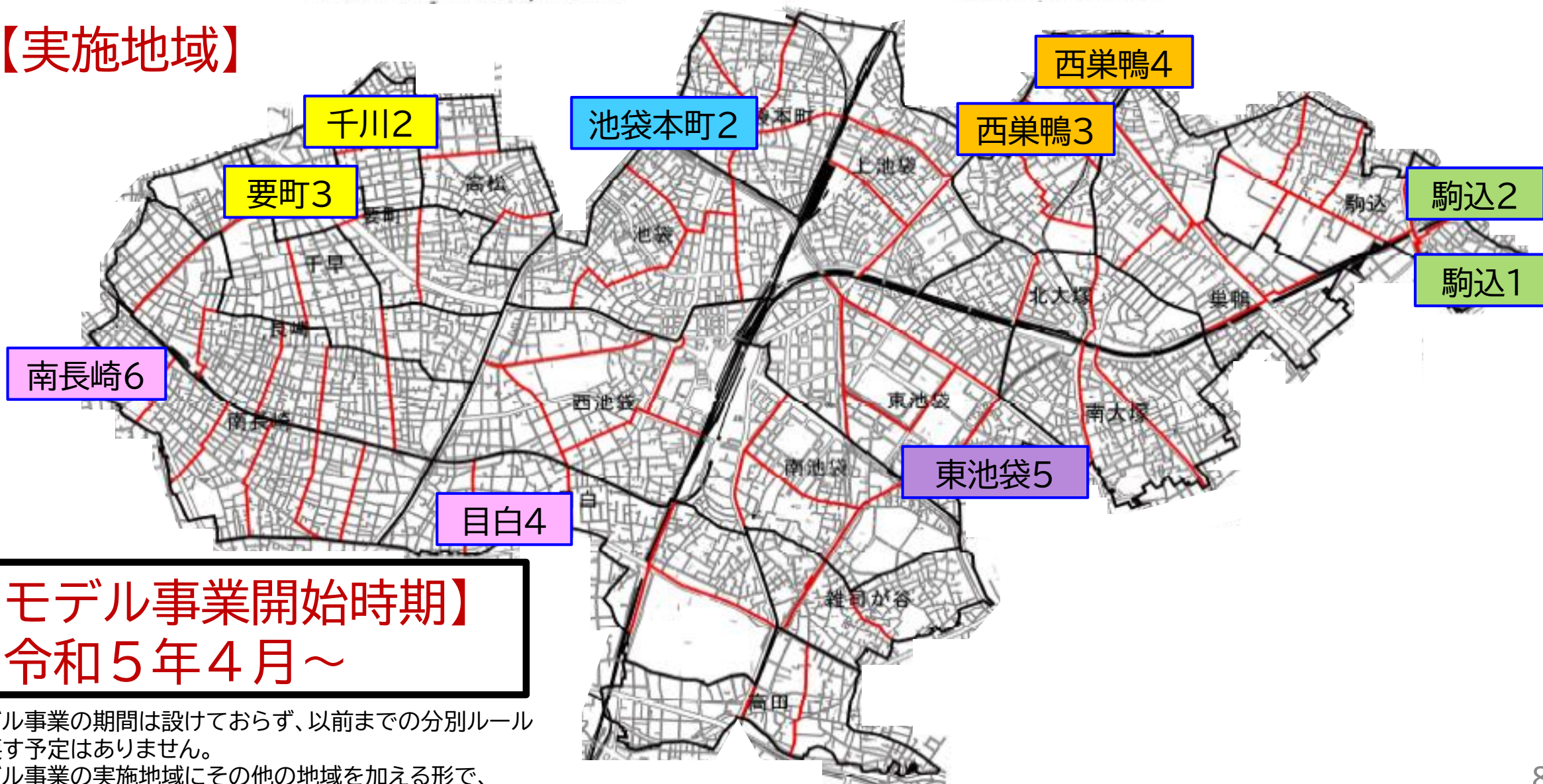


2. プラスチック資源回収のモデル事業



Ⅰ モデル事業の実施地域・開始時期

【実施地域】



【モデル事業開始時期】 令和5年4月～

※モデル事業の期間は設けておらず、以前までの分別ルールに戻す予定はありません。

※モデル事業の実施地域にその他の地域を加える形で、令和5年10月から区内全域での本格実施に移行します。

2 資源回収・ごみ収集の曜日

4月最初の「段ボール・紙・布類」の日が「資源(プラスチック)」の初回収日です。

回収資源 モデル地域	段ボール・紙・布類 <u>資源(プラスチック)</u>	びん・缶・ ペットボトル	燃やすごみ	金属・陶器・ ガラスごみ
西巣鴨3・4丁目	月	土	火・金	第1・3水
南長崎6丁目	火	月	水・土	第1・3木
目白4丁目	火	月	水・土	第2・4木
池袋本町2丁目	水	火	月・木	第1・3金
駒込1・2丁目	木	水	火・金	第2・4土
要町3丁目	金	木	水・土	第1・3月または 第2・4月のいずれか
千川2丁目	金	木	水・土	第2・4月
東池袋5丁目	土	金	月・木	第1・3火

- ・ 先行自治体の例等を考慮し、「資源(プラスチック)」の回収は週1回としています。
- ・ 「燃やすごみ」には生ごみが入っているため、衛生面や臭いを考慮して、今までどおり週2回の収集としています。

3 モデル事業実施に向けた作業スケジュール

令和4年						令和5年				
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
<p>済</p> <p>プラスチック資源回収導入検討調査実施</p>	<p>済</p> <p>プラスチック資源分別ルール意見交換会</p>			<p>済</p> <p>区政連絡会でモデル事業実施等を説明</p>	<p>済</p> <p>モデル事業の実施地域での区民説明会の開催</p>		<p>済</p> <p>区政連絡会で区民説明会の追加開催を説明</p>	<p>モデル事業の区民説明会の追加実施</p> <p>モデル事業実施に関する周知動画の配信</p>	<p>資源回収ごみ収集の冊子を全戸配布</p> <p>集積所看板の貼り替え</p>	<p>プラスチック資源回収モデル事業スタート</p>



3. プラスチック新分別ルール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



I 資源回収の現状と変更点

No.	品目	現状			変更点		
		分別区分	収集日	出し方	回収曜日	収集日	出し方
①	・びん ・かん ・ペットボトル	不燃系資源	週1回・ 集積所	コンテナ又は 袋出し	変更なし (ペットボトルのキャップとラベルは 「資源(プラスチック)」として回収)		
②	・食品用トレー ・プラスチック製ボトル容器	不燃系資源	週1回・ 集積所	専用ネット又は 袋出し	分別区分「資源(プラスチック)」		
③	・②以外のプラスチック製 容器包装 ・製品プラスチック	燃やすごみ	週2回・ 集積所	袋出し	「④可燃系資 源」と同じ日 に回収する	週1回・ 集積所	袋出し
以下、参考							
④	新聞、雑誌、段ボール、 古布類	可燃系資源	週1回・ 集積所	ひもで縛る又は 紙袋に入れる	変更なし		
⑤	金属、陶器、ガラス	金属・陶器・ ガラスごみ	月2回・ 集積所	袋出し	変更なし		

2 プラスチック新分別ルール

現行の分別ルール

資源	燃やすごみ	
<p>●食品用トレー</p>  <p>●プラスチック製 ボトル容器</p>       	<p>●プラスチック製 容器包装</p> <p> マークのついた 容器と包装</p>  レジ袋  菓子袋	<p>●製品プラスチック</p>  洗面器  ブロック  プラ製 ハンガー  使い捨て フォーク ナイフ など



新分別ルール

資源
<p>●素材が全てプラスチックでできている製品を、一つの袋にまとめて「資源(プラスチック)」として出す。</p>                   

3 プラスチック資源化の流れ

①分別・排出（区民）

- ・ 素材がプラスチックのみの容器・製品をごみ袋に分別して入れる。
- ・ 週1回、決められた曜日に出す。



②収集・運搬（豊島区）

- ・ 委託事業者が資源を回収する。
- ・ 回収した資源を選別・保管施設へ搬入する。



③選別・保管（豊島区）

- ・ 委託事業者が回収した資源を選別、圧縮・梱包し保管する。（べール品化）
- ・ 再商品化事業者へ引き渡す。



べール品

④再商品化（事業者）

- ・ 再商品化事業者がべール品を製品化する。

再生品の一例



パレット



プランター



4. プラスチック資源の出し方・分け方

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 資源として回収するプラスチック（例）

● プラスチック製容器包装 ●



プラスチックとして出せるかどうかの一つの目安として、「プラマーク」があるかを確認してください。

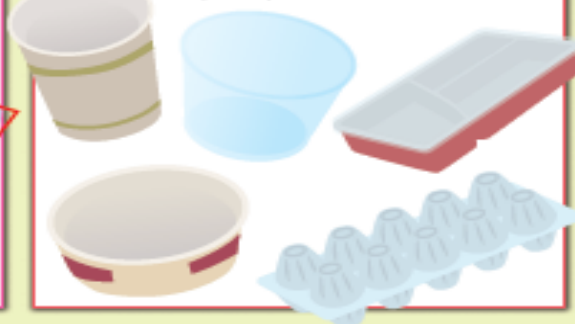
食料品、日用品の袋、ラップ

お菓子、パン、レトルト食品の袋、調味料の小袋、ラップ、フィルム、レジ袋など



カップ、パック類

カップ麺、弁当、卵の容器、プリン、ゼリーなどのカップ



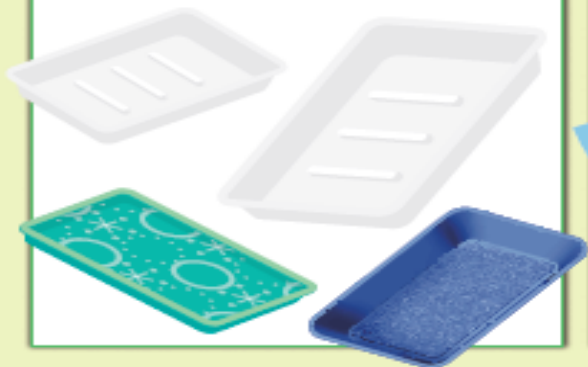
ボトル、キャップ類

シャンプー、ソース、食用油、洗剤などのボトル、プラスチック製のキャップなど



トレー類

食品用のトレー（色、柄つきでも可）



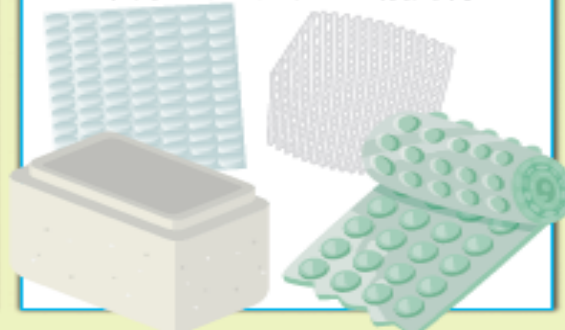
チューブ類

マヨネーズ、ケチャップ、わさび、歯磨き粉、化粧品などのチューブ



発泡スチロール、緩衝材

発泡スチロールやエアクッション、果物のネットなどの緩衝材



● 製品プラスチック ●

すべてプラスチックでできているもの（プラマークがついていないものもあります）



ハンガー、洗面器、歯ブラシ、コップ、スプーン、フォーク、CD・DVD（本体・ケース）、定規、ボールペン、ブロック、プラスチック製のひも など



2 資源（プラスチック）回収の対象外となるもの

NG

以下のものは、プラスチックでできていても、資源（プラスチック）として回収できません

①小型電子機器（携帯電話端末、デジタルカメラ、ゲーム機等）

⇒小型家電回収ボックスへ。



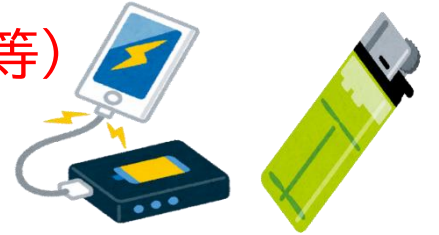
②一辺の長さが30cmを超えるもの

⇒粗大ごみとして申し込み。

③火災を生ずるおそれのあるもの（リチウムイオン蓄電池、ライター等）

⇒リチウムイオン蓄電池は販売店などの回収ボックスへ。

ライターは別袋で金属・陶器・ガラスごみへ。



④在宅医療などで使用したもの（点滴用器具、注射器等）

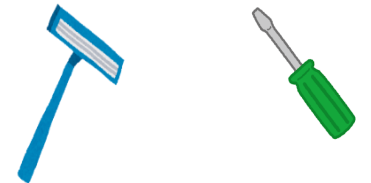
⇒針は回収可能な薬局へ。それ以外の部分は燃やすごみへ。



⑤金属との複合品、刃物などが付着しているもの

⇒金属・陶器・ガラスごみへ。

※刃物は新聞などで包み「キケン」と書いてください。



以下のものは、プラスチックでできていても、資源（プラスチック）として回収できません

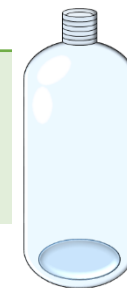
NG

⑥汚れが落ちないプラスチック

⇒「燃やすごみ」へ。

⑦ペットボトルの本体（キャップとラベルは「資源（プラスチック）」へ）

⇒「びん・かん・ペットボトル」へ。



⑧細かすぎるもの（詰替用のマイクロビーズ、マイクロビーズを使用した製品等）

⇒資源化施設での選別処理が難しいため、「燃やすごみ」へ。

※収集中の飛散を防ぐため、袋に入れて出してください。

マイクロビーズを使用した製品（クッションなど）は、破かずにそのまま袋に入れて「燃やすごみ」として出すか、30cmを超えるものは「粗大ごみ」へ。



⑨ビデオテープ

⇒分解するのが難しいため、「燃やすごみ」へ。

※ネジ等が含まれているが、燃やせる部分が多く、清掃工場の焼却炉への影響も少ないため。

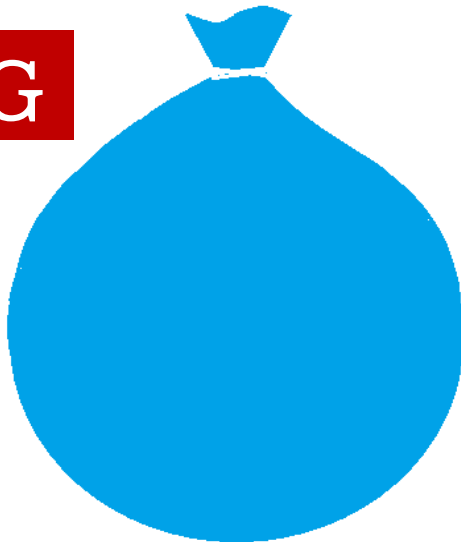


3 プラスチック資源の出し方

ポイント

- ・中身が見えるように半透明又は透明の袋(燃やすごみを出すときによく使用されている45ℓの袋や、レジ袋など)に入れ、「紙布類」とは分けて同じ場所に出す。
- ・集合住宅等で敷地内(建物の外側)に、ごみの保管BOXが設置されている場合は、他の資源回収と同様にBOXの外に置いてください。
- ・資源化施設での分別作業への影響が想定されるため、二重袋での排出はしないようにする。
(燃やすごみを出すときは二重袋でも問題ありません)

NG



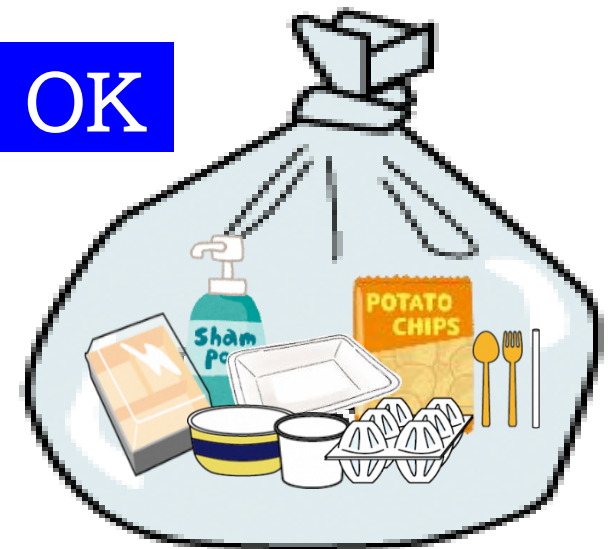
色の付いた袋

NG



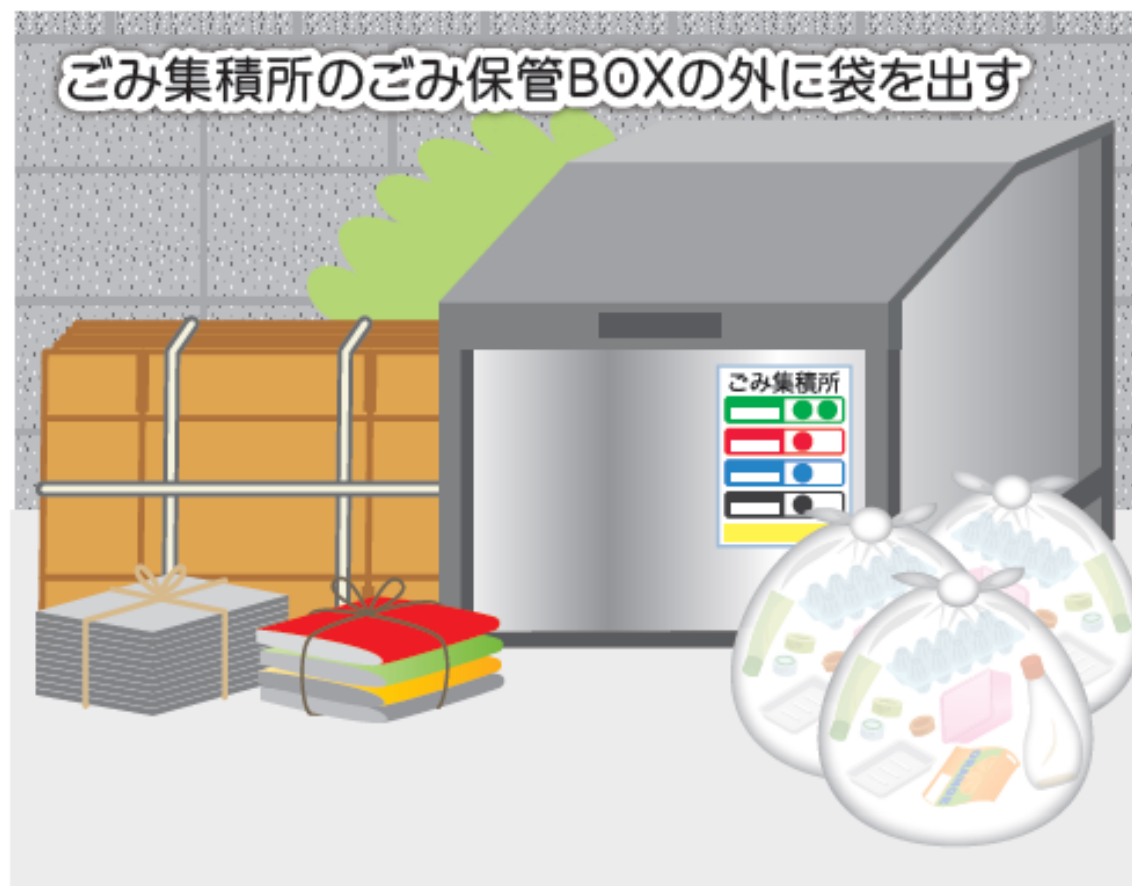
二重袋

OK



袋に直接入れる

資源（プラスチック）は「段ボール・紙・布類」と同じ日に分けて出してください ※回収業者が異なるため。



※プラスチックは軽いため、吹き飛び防止のために防鳥ネットを活用してください。

4 プラスチックの分け方

すべてプラスチックで
できていますか？

はい

商品の中身・汚れが
付着していますか？

いいえ

いいえ

「燃やすごみ」
「金属・陶器・ガラスごみ」
「粗大ごみ (30cmを超えるもの)」
それぞれに分別して出して
ください。

はい

中身・汚れ等を取り
除きましたか？

はい

「資源(プラスチック)」
として出してください。



いいえ

中身が残っている・
汚れを取り除けない
ものは「燃やすごみ」へ

4 各品目の出し方・分け方

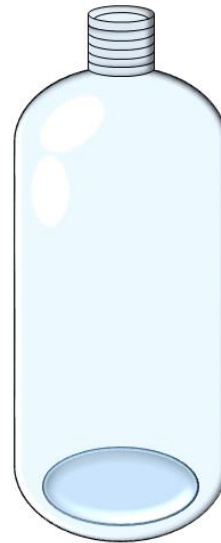
(1) ペットボトル

ポイント

- ・キャップとラベルは取り外して「資源(プラスチック)」として出してください。
簡単にはがせない場合は、ペットボトル本体と一緒に「びん・かん・ペットボトル」の回収日にお出しいただいても構いません。
- ・ペットボトル本体については、「びん・かん・ペットボトル」の回収日に、コンテナまたは袋で出してください。



キャップ、ラベルは「資源(プラスチック)」の回収日に出してください。



ペットボトル本体は資源(びん・かん・ペットボトル)の回収日に出してください。

※リサイクルのルートが異なるためです。

(2) 弁当・カップ麺等の容器

ポイント

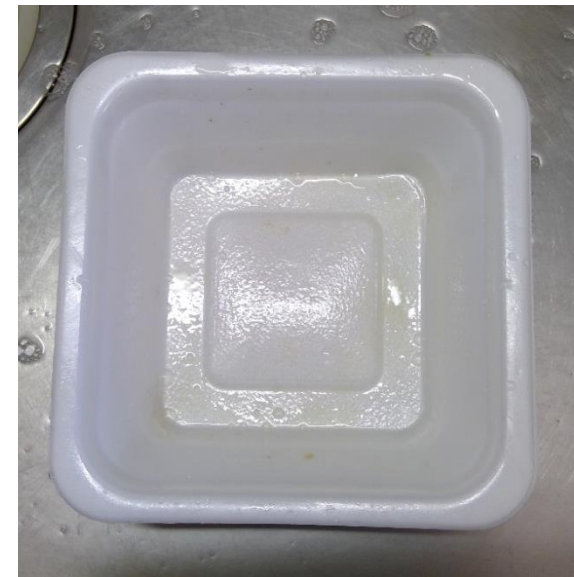
- ・中身や汚れは残り水などで軽くすすぐか不要な布などで拭き取ってください。
- ・少量の油分が残っていても「資源(プラスチック)」として出せます。

汚れが落ちない



燃やすごみ

少量の油分はOK



資源 (プラスチック)

(3) チューブ容器（マヨネーズ・ケチャップ・わさび・歯磨き粉、化粧品等）

ポイント

- ・中身をすすいで「資源（プラスチック）」として出してください。
はさみで容器を半分に切るとすすぎやすくなります。
- ・どうしても中身を取り除けないものは「燃やすごみ」として出してください。

ひと手間加えると「資源（プラスチック）」として出せるようになります。



汚れていたら



容器を切ると



洗いやすくなります

(4) 調味料の小袋

ポイント

- ・中身をすすいで「資源(プラスチック)」として出してください。
- ・小さくて汚れを落とすことができない場合や、すすいでも油分が落ちない場合は「燃やすごみ」として出してください。
- ・表面が銀色でもプラマークがあれば「資源(プラスチック)」として出せます。アルミの場合は「金属・陶器・ガラスごみ」として出してください。



できる限り中身をすすいで「資源(プラスチック)」として出してください。
少量の液体が残っていても「資源(プラスチック)」として出せます。



表面が銀色でもプラマークがあれば「資源(プラスチック)」として出せます。

(5) 詰め替え用パック (洗剤など)

ポイント

- ・中身をすすいで「資源(プラスチック)」として出してください。
- ・少量の液体や泡が残っていても「資源(プラスチック)」として出せます。



中身をすすいで「資源(プラスチック)」として出してください。
少量の液体や泡が残っていても「資源(プラスチック)」として出せます。

(6) ラップ類

ポイント

- ・汚れが付着している場合は軽く水ですすいでください。すすいだ後は、水気を簡単に切ってから「資源(プラスチック)」として出してください。

(7) 紙製のシールが付いているもの

ポイント

- ・簡単に剥がせるものであれば、剥がしてください。剥がせないものは、そのままでも「資源(プラスチック)」として出せます。



そのままでも「資源(プラスチック)」として出せますが、簡単に剥がせるものは剥がしてください。剥がしたシールは「燃やすごみ」として出してください。

(8) お菓子の袋 (ポテトチップスなど)

ポイント

- ・袋の中が銀色でもプラマークがあれば「資源(プラスチック)」として出せます。
- ・軽くはたくなどして残りカスがなくなってから出してください。



袋の中が銀色でもプラマークがあれば、「資源(プラスチック)」として出せます。



軽くはたいて残りカスをなくしてください。

(9) 薬の包装（アルミ加工のあるもの）

ポイント

- ・プラマークが表記されているものは、「資源(プラスチック)」として出せます。
- ・金属とのみ表記されているものは「金属・陶器・ガラスごみ」として出してください。
- ・なにも表記されていないものは「燃やすごみ」として出してください。



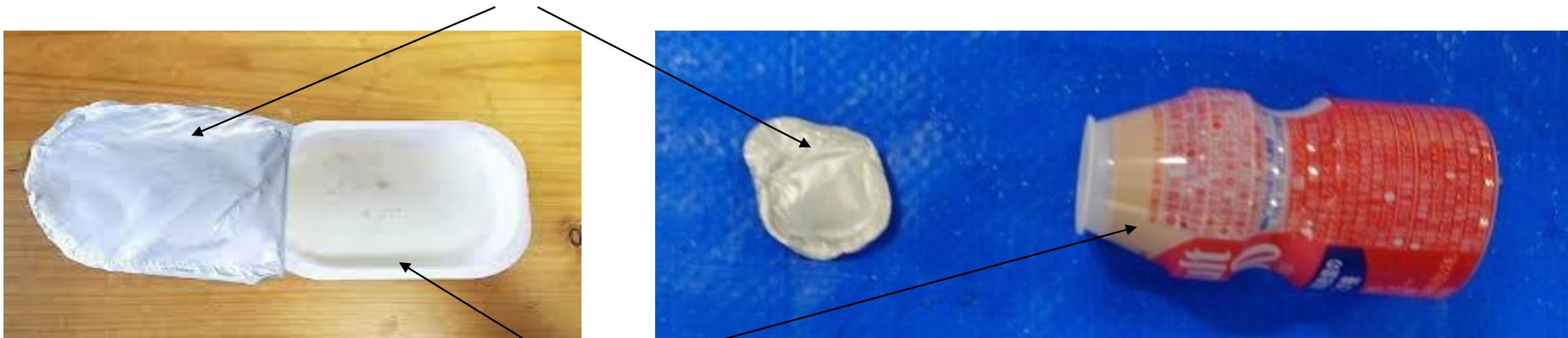
「金属」と書いてありますが、プラマークがあるので「資源(プラスチック)」として出せます。

(10) ふた (ヨーグルト等)

ポイント

- ・アルミ加工されているものは「資源(プラスチック)」としては出せません。「金属・陶器・ガラスごみ」として出してください。
- ・裏側が銀色でもプラマークがあれば「資源(プラスチック)」として出せます。

ふたはアルミ加工のため「金属・陶器・ガラスごみ」として出してください。

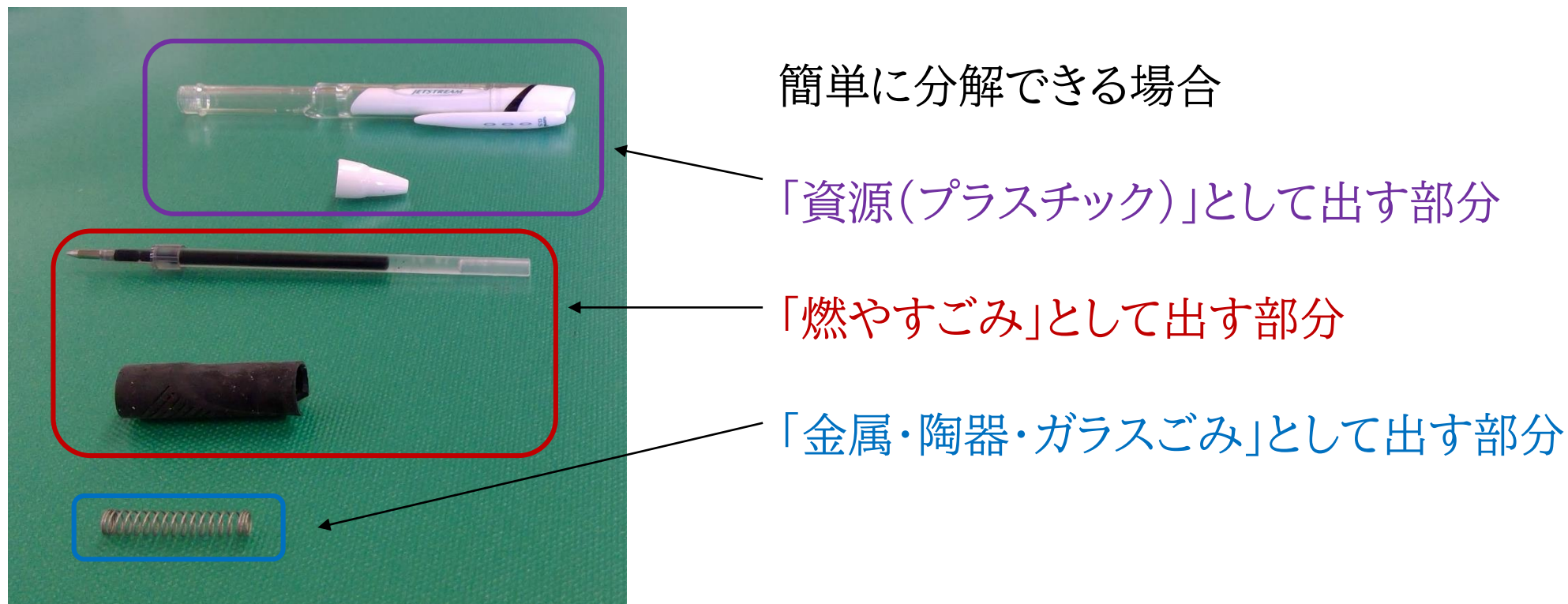


本体は「プラスチック」の場合が多いので、表示を確認してください。

(11) ボールペン

ポイント

- できれば分解して金具を除き「資源(プラスチック)」として出してください。
分解が難しい場合は「燃やすごみ」として出してください。



分解が難しい場合は「燃やすごみ」として出してください。

(12) 発泡スチロール

ポイント

- ・大きいものは、30cm以下を目安に袋に入るように砕いて、「資源(プラスチック)」として出してください。

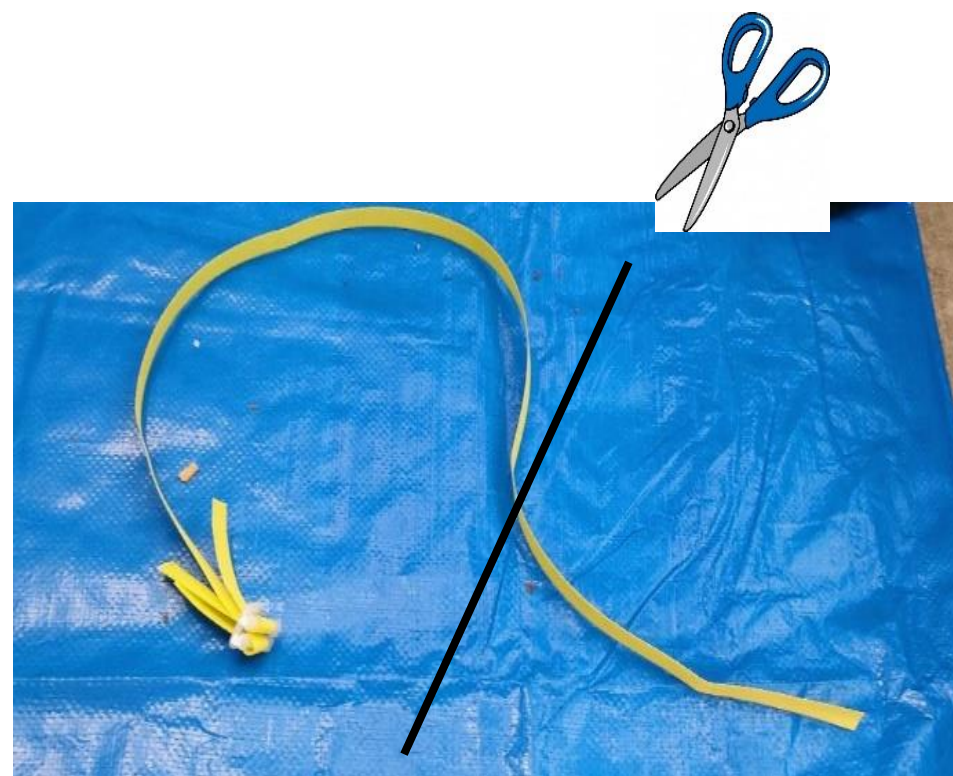


袋の中に入れてから砕くと、カスが飛び散らずに済みます

(13) プラスチック製の梱包用ひも

ポイント

- ・30cmを目安に、切ってから「資源(プラスチック)」として出してください。
※選別の際に機械に絡まってしまうことがあるため。

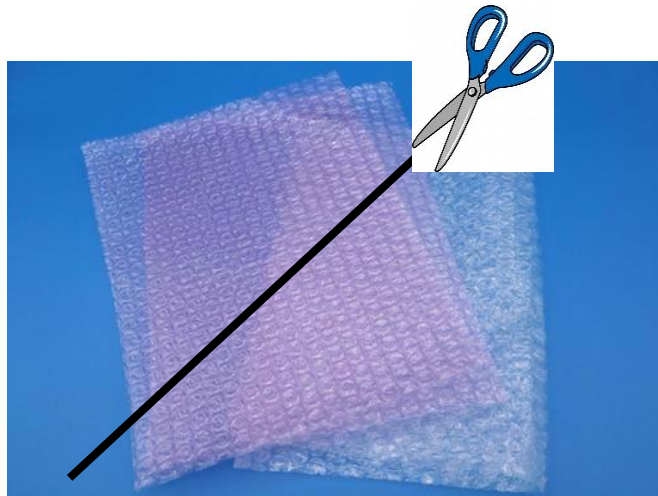


梱包用のひもは、30cmを目安に切ってから「資源(プラスチック)」として出してください。

(14) エアー緩衝材

ポイント

- ・30cmを目安に、切ってから「資源(プラスチック)」として出してください。
※選別の際に機械に絡まってしまうことがあるため。



気泡緩衝材(プチプチ)は30cmを目安に切ってから資源(プラスチック)として出してください。



エアークッションも30cmを目安に切ってください。空気を抜くとかさばらずに出すことができます。

(15) CD、DVD、CDケース、DVDケース

ポイント

- ・CD、DVD、CDケース、DVDケースともに「資源(プラスチック)」として出してください。



紙の付属物(歌詞カードなど)は、取り除いてから「資源(プラスチック)」として出してください。

(16) プラスチック製の食器類等

ポイント

- ・素材が全てプラスチックでできている場合は「資源(プラスチック)」として出せます。
- ・なるべく店頭でもらわないようにして、繰り返し使えるものを積極的に使うようにしましょう。



プラマークがなくても全て素材がプラスチックでできているので、「資源(プラスチック)」として出せます。



5. プラスチック資源回収導入の効果

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 プラスチック資源回収導入の効果

効果1

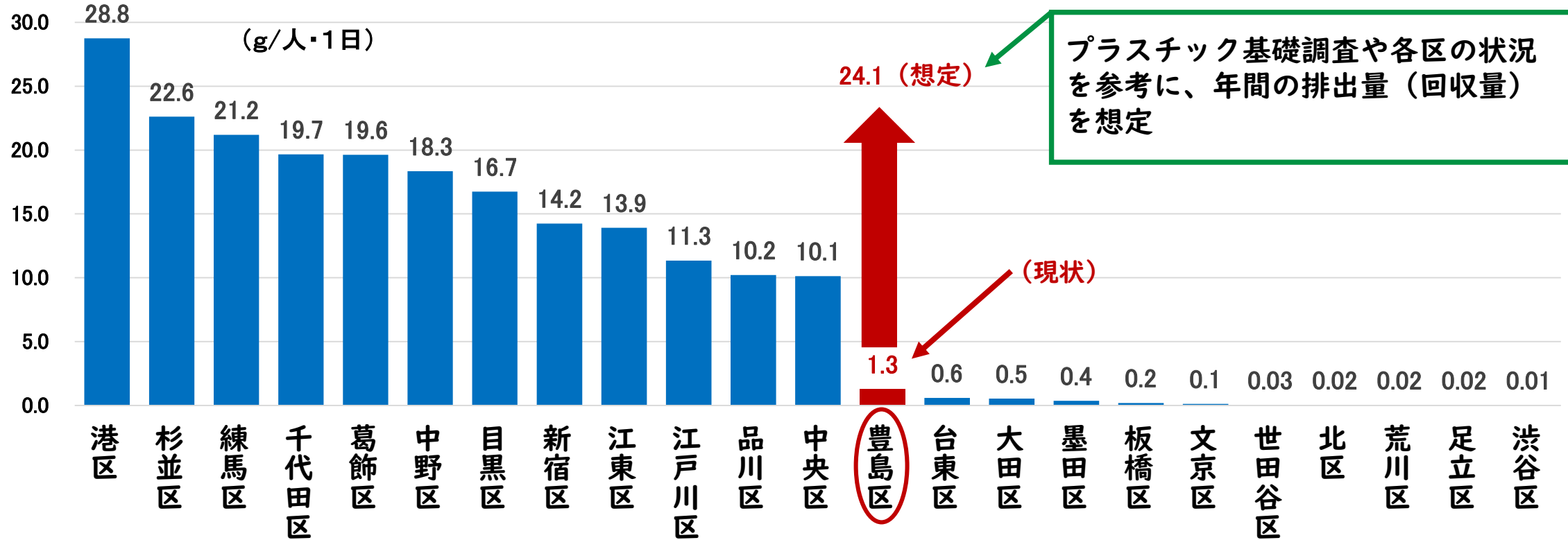
豊島区民一人1日あたりのプラスチック回収量を大幅に増やすことができる。

効果2

焼却から資源への切り替えにより、発生するCO₂をさらに削減できる。

効果1

豊島区民一人1日あたりのプラスチック回収量を大幅に増やすことができる!



プラスチック基礎調査や各区の状況を参考に、年間の排出量(回収量)を想定

プラスチック製容器包装 全品目分別収集実施
(港区と千代田区は製品プラスチックも回収)

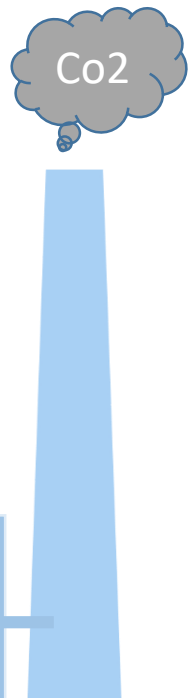
※プラスチック資源回収は、区ごとに実施するため、同じタイミングでスタートはしません。

効果2

焼却からリサイクルへの切り替えにより、発生するCO₂をさらに削減できる！

【現状】

【焼却】



【令和5年4月～】

【材料リサイクル】

プラスチックをプラスチックのまま原料にして新しい製品を作る手法（パレット、建築資材等）

【ケミカルリサイクル】

プラスチックに圧力や熱を加えて、元の石油や基礎科学原料に戻して再利用する手法（油化、ガス化等）

【プラスチック資源回収導入によるCO₂削減効果】

※令和6年度人口推計から算出



約3,189トンのCO₂（東京ドーム77個分のスギの人工林が1年間に吸収する量）を削減！

燃やすごみ約1,995トンが資源に！

「焼却」から「リサイクル」へ



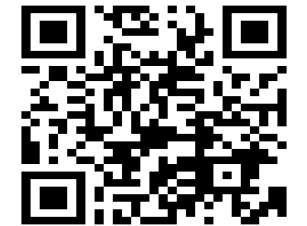
6. プラスチック資源回収に関する情報・お問い合わせ先



◆プラスチック資源回収の情報を区ホームページに掲載

プラスチック資源回収に関する情報を区ホームページでお知らせしています。

URL <https://www.city.toshima.lg.jp/151/2209291309.html>



◆個別に説明会を実施します

地域の集まりや集合住宅、町会の役員会等を対象とした説明会も実施いたします。ご希望の場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。モデル事業開始前だけでなく、始まった後も対応いたします。

◆プラスチック資源回収に関するお問い合わせ先

豊島区環境清掃部ごみ減量推進課プラスチック分別収集準備グループ
☎:03-4566-2623(直通) E-mail:A0014801@city.toshima.lg.jp